

学びの循環のある地域社会について

～学校・家庭・地域がつながる元気なPTA活動～

三郷市社会教育委員 山崎 治
(三郷市PTA連合会会長・八木郷小学校PTA会長)

三郷市概要（平成29年12月1日現在）

- ・面積 30.22km²
- ・人口 140,110人
- ・世帯数 62,296世帯
- ・「きらりとひかる田園都市三郷

～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち～」

○「日本一の読書のまち」宣言



日本一の
読書のまち
三郷



©三郷市 2017

日本一の読書のまち宣言

読書は、先人の想い、人類の英知を伝えるとともに、みずみずしい感性や旺盛な好奇心を育み、より深く豊かに生きるための力となって、生涯にわたり大きな財産となります。

三郷市は、「日本一の「読書のまち三郷」づくり」をきっかけ、子どもたちに「読書の楽しさ、知る喜び」を伝えるため、家庭・地域・学校・図書館が一体となり、おはなし会やブックトーク、朝読や家読、子どもが感想などを伝えあう読書郵便、市が独自に編集した『言葉の力』、子ども司書の養成、読書フェスティバルなどにより、読書活動を推進してきました。

市制施行40周年の節目では、「全国家読サミット」において、三郷市を全国に向け発信しました。

私たちは、読書活動をとおして人と人との絆を結び、誰もが、いつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、文化のかおり高いまちを創ることを願ひ、

- 1 乳幼児期から読書の世界に触れる機会を大切にします。
- 1 「家読ゆうびんコンクール」をはじめとし、家読をすすめます。
- 1 三郷の歴史・民話など、郷土を深く知る機会を大切にします。
- 1 図書館などを活用し、読書に親しむ機会を大切にします。
- 1 人と本をつなぐネットワークづくりをすすめます。

ここに三郷市は「日本一の読書のまち」を宣言します。

(平成25年3月18日議決)



三郷市PTA連合会について



○概要

- ・ 設立年 昭和41年
- ・ 会長 山崎 治
- ・ 会員数 小学校19校、中学校8校 計27校
P会員・T会員 計9,118名
(平成29年5月31日現在)

- ・ 平成29年度活動スローガン

**「学校・家庭・地域のかげはし
となるPTAをめざそう！」**



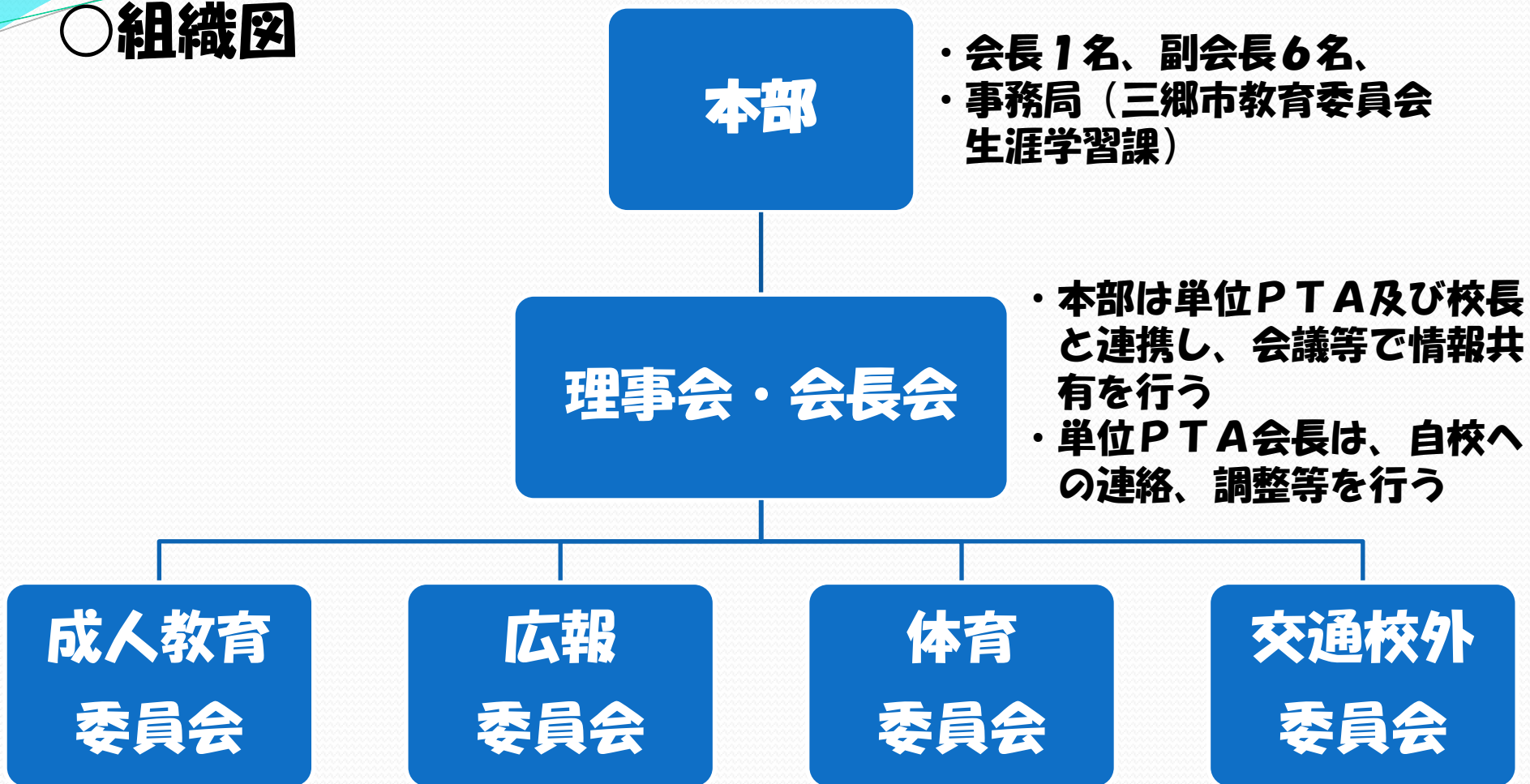
三郷市PTA連合会

三郷市PTA連合会ロゴマーク

○平成29年度の重点

- 1 単P相互の情報交換を通じて、学ぶPTAをめざし、絆を強める**
- 2 市教育委員会等の関係諸機関・諸団体と連携し、市P連事業の充実を図る**
- 3 家庭教育講演会、親の学習、三行詩を推進し、家庭教育の充実を図る**
- 4 「三郷のみんなで実現させる5つのキーワード」の実現に努める**

○組織図



PTA連合会では、4つの委員会に分かれて、PTA活動の支援を行っている

特徴的な活動

○家庭教育講演会（成人教育委員会）



毎年6月中旬頃開催

○スポーツ大会（体育委員会）



女子バレーボール



**男子ソフトボール
・女子ソフトボール**

○研究大会



小中学校のPTA 1校ずつが実践発表を行う



八木郷小PTAの活動



○概要

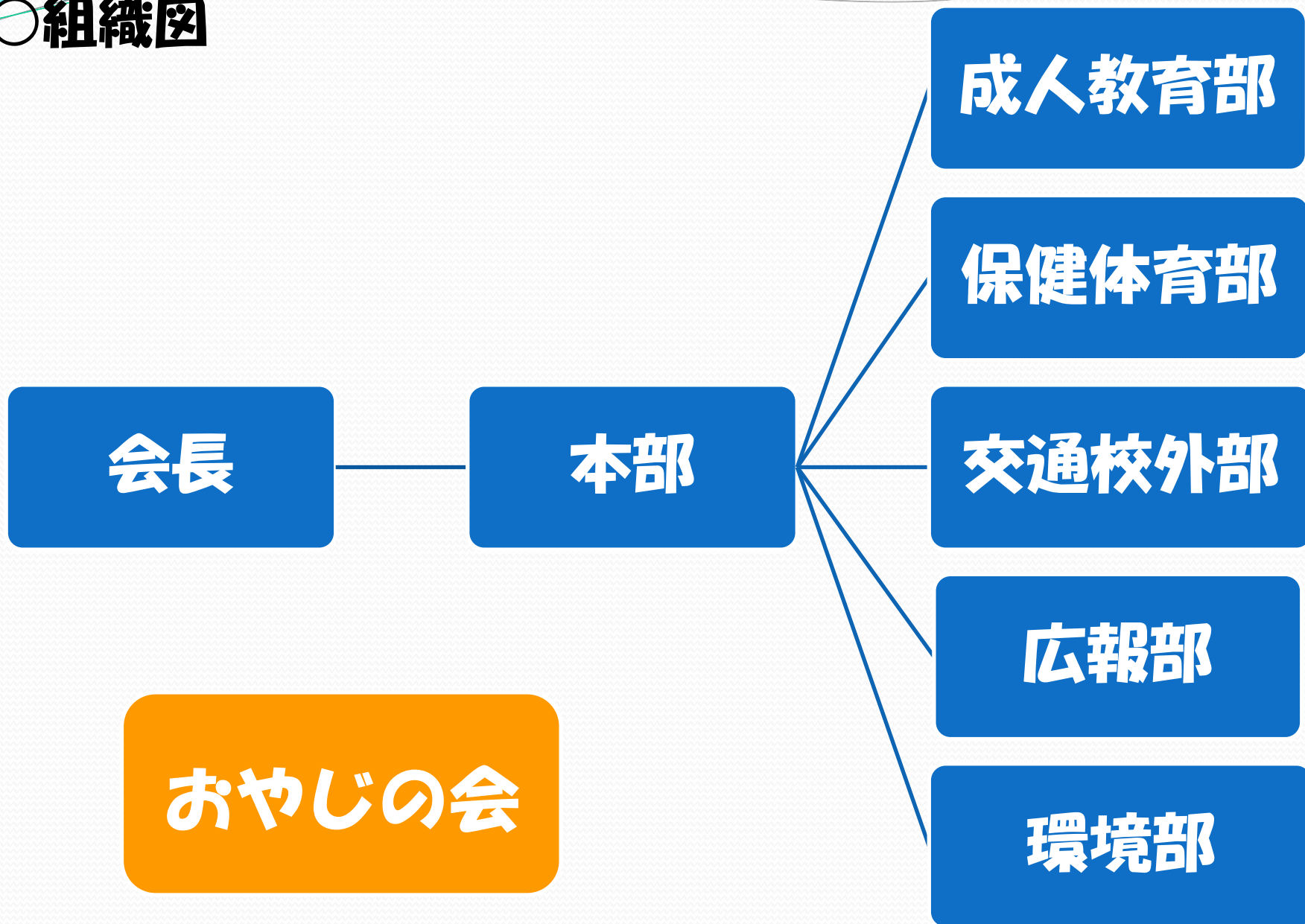
【学校】

- ・創立 明治26年1月8日 八木郷尋常小学校
平成29年に創立125周年を迎えた伝統校
- ・八木郷小学校3つの誇り
「小さな伝統校八木郷小 地域と共に歩む八木郷小
みんなが主役きらり輝く八木郷小」

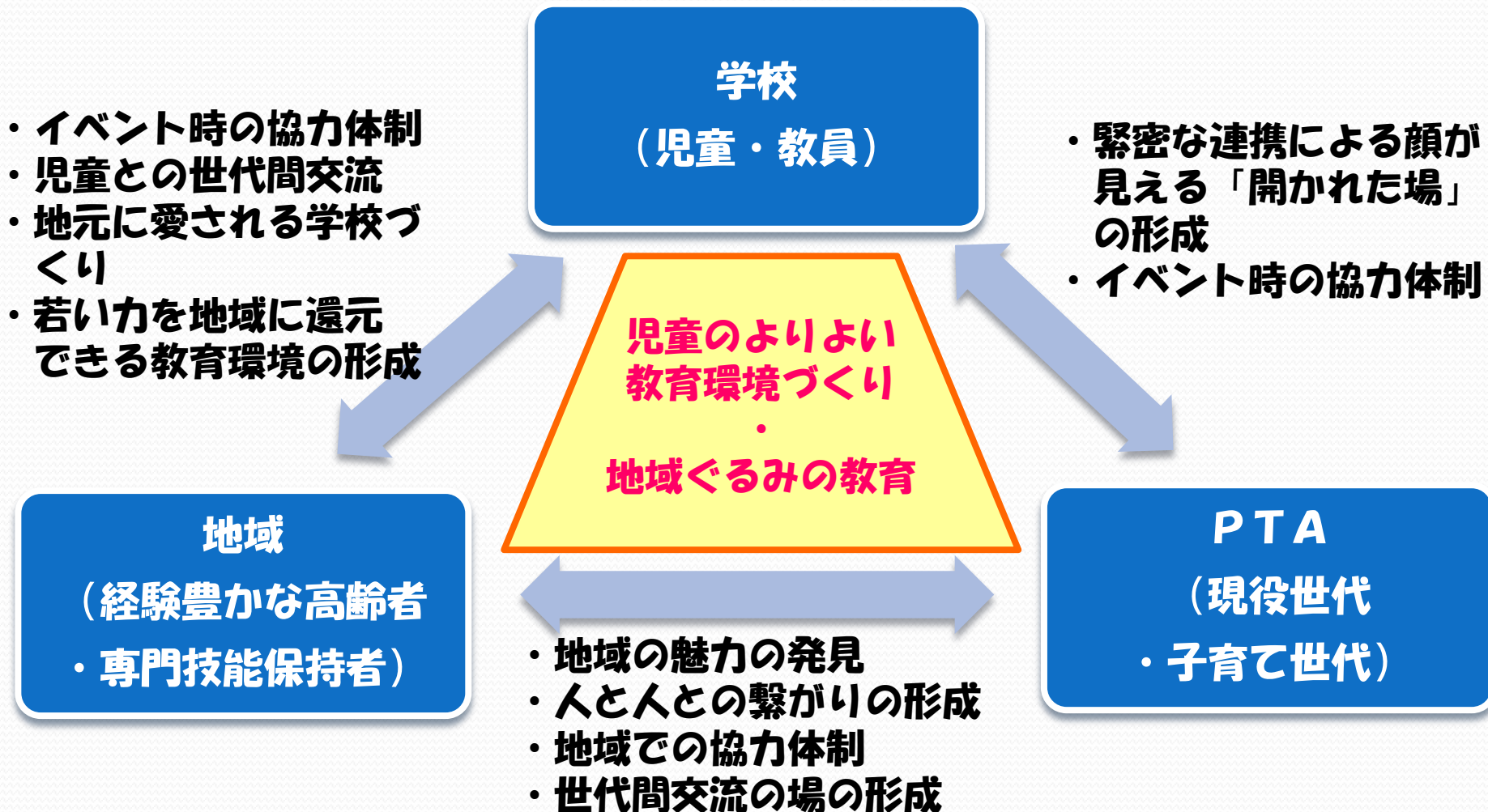
【PTA】

- ・設立 昭和42年4月1日
- ・会員数 181人（平成29年10月1日現在）
- ・保護者と教職員が協力して、家庭、学校、社会における児童の幸福な成長を図ることを目的とする

○組織図



○ハ木郷小PTAの「学びの循環」



○学校ファーム（さつまいも作り）

- ・ 毎年5月に地域の農家の方やPTA、学校ボランティアと連携し実施。卒業生も毎年参加している
- ・ 120坪の農地での畝づくり、水やり、雑草取り、収穫、焼き芋パーティーまで行っている
- ・ 児童、保護者、地域が1つになって育てている

**世代間交流、
農業を知らない子ども・親世代にとっての学びの場**



まずは草取り

畝づくりも勉強
です





地域のかたや保護者、卒業生の協力で・・・

完成！





苗植えも教えて
もらいました



植えた後も水やり、
蔓返し、雑草取りなど
たくさんの「学び」が
ありました



みんな収穫♪





**お手製石焼き芋機
登場！**

焼き芋パーティー





○ステップアップ教室

- ・ 地域のボランティア、PTA、卒業生（中高生）による学習支援
- ・ 夏休み期間中の8日間、赤ペン先生として活躍
- ・ 近所のかたや卒業生が教えてくれるという安心感
- ・ 卒業生にとっては、「教える」という立場で参加できる場

**地域一体となった教育環境、交流の輪の広がり、
教わる者も教える者も自信が芽生える**



保護者、地域の かたによる 赤ペン先生

間違えたところは
その場で解決





卒業生も教えに
来てくれます！



教える側も自信がつき、
自分の勉強に活かせます



顔が見える安心感



○親子着衣泳教室・水泳大会練習（学びと支援）

【親子着衣泳教室】

- ・消防署員を指導者に迎え、「自分の命は自分で守る」を実践するPTA主催の新しい学びの取り組み

【水泳大会練習】

- ・教員数に限りがあるため、タイム測定に手が回らない現状をPTAの力でカバー
- ・よりよい測定方法について経験者が未経験者に教える

**親子で学ぶことで家庭・地域に還元、
経験が次に活かされていく**

親子着衣泳教室

ういて まで!



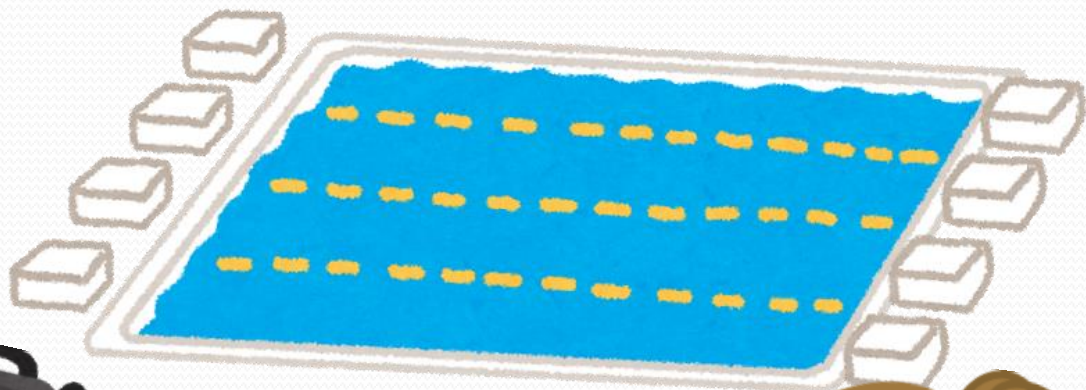


お父さんの参加も
多い事業

「自分の命は、
自分で守る」



水泳大会練習



○ふれあい夏祭り

- ・ P T Aから発足した「おやじの会」がふれあい夏祭り実行委員会の中心となり実施
- ・ 平成27年度から「家庭、地域の絆を深め、子どもたちの健全な育成を推進する」という目的により始まる
- ・ 毎年1,000人前後が地域から集まる
- ・ 櫓、提灯の設置、設営を「おやじの会」が行う
- ・ 盆踊り、櫓太鼓の指導をP T Aが行う

**父親同士のつながりの場、専門的職業技術の活用、
地域を巻き込んだイベントづくり**



**当日、雷雨の予報が…
しかし！**

**「やっちゃんおうか?!」の
声でまつりの実施決定!**



**専門的な技術
大活躍！**

**足場組み、電気配線、
トラック、クレーン…
おやじの会の力の見せ所**





櫓、提灯 完成！
地域のかたの知恵も
お借りしました



櫓を囲んで、盆踊り





地域のイベントとして
たくさんのかたが
参加しました

櫓の上では、子どもたち
が習った太鼓を披露



太鼓を教えてくれた
お母さんたちに感謝！





雨が降っても
にぎわいは変わらず





みんなで作って、
みんなが楽しめる
イベントに





○平成28年度優良PTA文部科学大臣表彰 受賞

- ・脈々と受け継がれてきた地域のよさを活かした
活発なPTA活動により、見事受賞した



成果と今後の課題

学び合う場・学んだことを発信する場

地域（高齢者・有知識者）

保護者

体験・イベントによる時間・目的の共有が増加

児童

○今後の課題

- ・ **活躍の場を自分たちで探し、広げていく**
⇒ **市内の他の学校、他市のPTAへにも**
- ・ **イベントの運営に町会を巻き込んでいく**
⇒ **地域一体のイベントとして今後も行っていくため
には、町会の協力が不可欠**
- ・ **新たなPTA会員への情報共有**
⇒ **受け継ぐためには次世代への情報共有が必要**
- ・ **できたつながりをゆくゆくは防災上の相互協力へ**
⇒ **「自助」から「共助」へ**

ご清聴いただき
ありがとうございました。

